2014.6.14　　コンサート　歓びVol24

１　コンサートを聴いてと有賀ファミリーの作品を観ての感想

・演奏者が障がい者やその家族への理解と愛情を強く感じ感激しました。

・お天気にもなり、とても良い午後のひと時を過ごさせていただきました。素敵な演奏を有難うございました。また、いろいろな作品が上手に作ってあり感心しました。

・この世に生かされて八十数年、今さらの様に月日の経つのに感無量。感謝、感謝。

・遠藤先生はじめ有賀ファミリーと一体となって参加できた事でたくさんの元気をいただきました。

・遠藤先生のバイオリン演奏と有賀さんの朗読のかもしだす雰囲気に思わず聞き入ってしまいました。詩の内容、そして一語一語がバイオリンの音色とハーモニーし、目を閉じて聞いていると何か別の世界にいるような感じさえ体験していました。きっと遠藤先生と有賀さんの気持ちや心の中の想いが、目には見えない所で互いに関わり合い創りだしているのだろうと感じました。本当に素晴らしい演奏会でした。

・障がい者の事を良く理解して遠藤先生の話を聞きました。曲名がわかっているとよかったと思います。

・カッコーの声、雨の音、あらしの音が素晴らしかったと思います。ごめんなさいのノートの話、うれしいときの話に胸が痛み、涙が出ました。ごめんなさいが言えない人が多いのに・・・・

・つつじが丘のふれあいセンターでこんな素晴らしい心のこもった演奏を聞けるとは思っていませんでした。バイオリンの音色もとてもよかったと感じました。有難うございました。この演奏会でこのまちの文化が向上し、まちが成長したように感じました。とても感動しました。また、障がい者についてもまず自分が理解し、普段から共に生活できるように心掛けたいと思っています。

・絵画の色彩や色使いに感心しました。とても明るい夢を思い浮かべるような透明感も感じましたし、また同時にそれぞれの色が生き生きと輝いて見えました。会場に入りすぐに目にとまりました。

・バイオリンの演奏とても素晴らしかったです。遠藤和先生ありがとうございました。また有賀さんの詩の朗読もバイオリンとよく合って、お母さんの気持ちがよく伝わりました。

有賀ファミリーの作品どれも素晴らしく、ユニークで味がありました。

・とても良い時間をありがとうございました。

・有賀家の平安がずっと続きますように。

・やすらかな時間をいただきありがとうございました。

どうぞお体を大事にして、ますます地域へのご活動を祈念申し上げます。

・有賀ファミリーは心温まる想いがしたし、詩も大変分かりやすくて良かった。

・とても温かい作品で、日ごろのご両親の接し方や、周囲の方に見守られ、心穏やかに育った感じがしました。バイオリンのきれいな響きと心の詩と、聞けて良かったです。

・心が洗われました。有賀さんのお母さんの気持ちとても感心しました。よくできたと思います。

・私は反省の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。お体に気をつけて長生きしてください。

・遠藤先生と有賀さんの心が一つになって温かい心が伝わってきました。

・バイオリンの生演奏を始めて聞きました。素晴らしかったです。有賀ファミリーの作品も素敵でした。

・良かったです。

・とっても素敵な話と作品、涙が出てきました。バイオリンの音も久しぶりに聞きました。とっても良かったです。

・朗読も、それに合わせたバイオリン演奏も感動しました。作品は明るい色調で、心が温まり、明るい気分になります。

・バイオリンの生演奏とてもよかったです。今日はなぜか母を思う出す日、供養になったと心から思い、やさしい心になれました。感謝です。有賀さんのお母様、宣美さんのためにもどうかお体を大切に頑張ってください。

・今日はありがとうございました。

午後のひと時、やさしいバイオリンの音色と、先生の優しいお心に、心と体に安らぎを覚えました。また有賀さんのすべてのご苦労を乗り越えられたやさしい安らぎが伝わってくるようでした。

・有賀さんの朗読が素晴らしかった。どうしてあんなに上手に朗読できるのか。自分の心からの想いだからでしょうね。

・遠藤先生のコメントも温かみのあるもので、感激しました。声を出す障が者の保護者が外に出られたら、「構わないので会場にいてください。」と言われたこと。即座にこのような声かけができるのは、日ごろ障が者に対して温かい思いをもっておられるからこそだと思えます。

また曲目も、自然に口ずさめるものが多く、庶民の目線で選曲されていることが分かりました。

・芹ようこが記憶障害になったけれど訓練でまた歌を覚えた話も、誰もが障がい者になる可能性があると言うことを示しているようなお話で、これもまた良かったです。

・とてもいい音色でうっとりして聞きました。身近なところで、こんなに素晴らしい音楽が聴けるとは・・・素晴らしい１日でした。

・参加者が、バイオリンに合わせて口ずさんでいました。演奏者と参加者が一体となって、作り上げているコンサートとなりました。出演者の心が参加者に伝わったのでしょう。

２　障がい児者とともに生きるまちにするために

皆で力を合わせたいと思います。具体的にはすぐに思いつきませんが住みよいまちにしていきたいと思います。・障がい者を見かけて気軽に声かけでき、お互いに認め合えるようになると良くなると思います。

・年老いた今、残された時間、できる限り精一杯身近な人に尽くしたい・

・健常者が障がい者のことをもっと理解できる機会や、日常的にふれあえる機会がもっと増えると良いと思う。

・このまちの障がい者への理解もこの2,3年で変化しているように思います。本日の演奏会も含め、さらに互いの理解が深まるような機会を設定していくと良いのではないでしょうか。

・みな同じ一つの意の生命です。皆で助け合って生きていきたいと思います。

障害児者が気軽に参加できる今日のような行事がたくさんあるといいですね。遠藤さんが「声を出しても大丈夫だから居てもいいよ」と言ってくださり、ありがたいと思いました。

・私たちがもっと深く関心を持つべきです。

・このような機会に障がいのある方と触れ合うことは少しでも理解できるかと思うし、やさしい気持ちをもつことができたらと思う。

・普通に皆の中にいられること、いられる環境。

・市主催のイベント・障がい者中心の物を催してほしい。

・障がいは人それぞれにより、違いがあるので、接し方も難しいと思います。しかし身近に感じることにより、一歩でも進められるのではないかと思います。

・具体的なことは思い浮かびませんが、障がいのある方が、地域の中で自由に活躍でき、皆と自然に触れ合える機会が多くなるよう協力したと思います。

・